

豊岡農業スクール研修生を募集

就農に必要な技術と能力を研修

新規就農者や農業後継者を確保するために「豊岡農業スクール」の2020年度研修生(第8期生)を募集します。

申込期限 1月31日(金)※必着

▼**内容** 就農に必要な農業生産技術と経営管理能力を習得する。認定農業者が営む農地で実地研修をする。

▼**対象**

- ▽研修開始日の満年齢が原則50歳以下であること
- ▽市内在住者または転入者であること
- ▽将来、市内での独立自営就農または雇用就農(親元就農を予定している者は、研修先が親元以外の受入農家であれば該当)を目指し、環境創造型農業等に取り組む意欲のある者であること

▼**定員** 新規就農研修生3人以内

▼**申込方法** 事前に電話連絡をしてください。その際に事業内容を説明し、その後、申込書類を郵送します。申込期限に間に合うよう早めに連絡をしてください。

※受付時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

▼**申込みに必要な書類**

▽豊岡農業スクール研修申請書(様式第1号)

▽履歴書 1通

▽研修生が障害者の場合は、それを確認できるものの写し(身体障害者手帳など)

▽研修生の生年月日が確認できるものの写し(運転免許証、健康保険証など)

▼**研修期間** 4月1日(水)～2021年3月31日(水)※更新で最長3年間

▼**事業主体** 豊岡市認定農業者連絡協議会

研修条件

研修時間 週40時間(1日8時間×5日間)を基本

給付金 1人月額100,000円を支給

傷害保険 本協議会で加入

その他 自己で所得税の確定申告が必要協議会が定める規定に違反した場合は、給付金の全額または一部を返還していただく場合あり

研修までのスケジュール(予定)

面接通知 2月上旬に郵送で通知

面接 2月中旬

決定通知 2月中旬に郵送で通知

入校式 4月1日(水)

《申込み・問合せ》農林水産課 ☎23-1127

市立東霊苑の永代使用者を募集

墓所を探していませんか?

東霊苑はせせらぎやビオトープを配置したくつろぎのある緑あふれる霊苑です。駐車場から墓所区画まで段差がなく、どなたでも安心してお参りできます。

▼**名称** 市立東霊苑

▼**所在地** 市場490番地の2

▼**施設の概要** 墓所：第1期工事323区画(2019年11月末129区画永代使用許可済)▽トイレ、水くみ用水栓あり

▼**区画面積** 6㎡(間口2m×奥行3m)

▼**申請資格**

▽本市に住所または本籍を有する方

▽申請者または申請者と同一の世帯に属する方が、市立霊苑の永代使用許可を受けていない方

▼**申込み** 墓所使用許可申請書に必要書類を添

付して申し込んでください。

《使用料等》

区分	永代使用料	管理料(年額)
本市に住所を有する方	780,000円	3,000円
本市に住所を有しない方(本籍のみ本市の方)	936,000円	3,000円

(注)永代使用料とは、永代(子々孫々にわたり、区画をお貸しする費用です。許可時に納めていただき、以降は不要です。

▼**その他** 自分の家の庭や畑等に勝手に墓をつくったり、遺骨を墓以外の場所に埋めたりすることは法律で禁止されています。

※西霊苑の問合せも受け付けています。

《申込み・問合せ》生活環境課 ☎23-5304

全国かな書展を開催

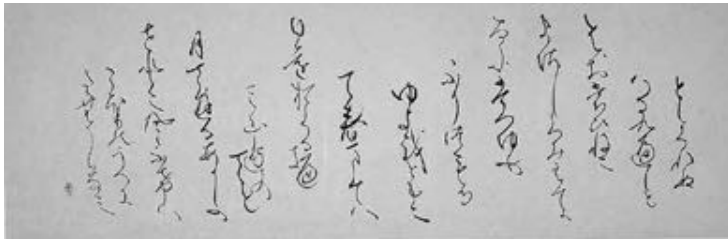
11月15日から17日まで開催した「第19回豊岡全国かな書展」では、全国26都府県から応募のあった5466点の内、文部科学大臣賞をはじめとする入選・入賞作品3039点等を示しました。16日には、市内上位入賞者による書の実演や八鹿高校書道部の書道パフォーマンスの他、入賞作品に囲まれながらの箏・フルート・チェロの演奏を行いました。

《問合せ》竹野振興局地域振興課 ☎47-1111-1



八鹿高校書道部の書道パフォーマンス

仲田光成記念賞 山下富子作



(釈文)年くれぬ春くべしとは思ひ寝に
まさしく見えてかなふ初夢 他二首(西行)

入賞者(特選除く)※敬称略

■文部科学大臣賞

村谷幸薫(神奈川県横浜市)

■仲田光成記念賞

山下富子(中央町)

■神戸新聞社賞

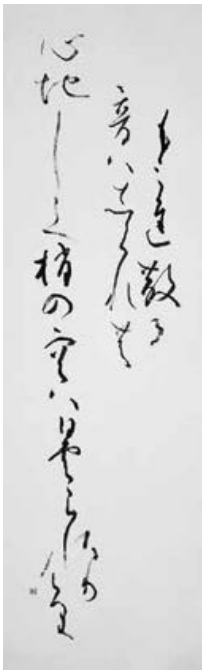
與田風紗(竹野中1年)

■豊岡市長賞

小島昌季(新田小1年)

大武星愛(豊岡小4年)

文部科学大臣賞 村谷幸薫作



(釈文)紅葉散る音は時雨の心地して
梢の空は曇らざりけり(藤原家経)

■豊岡市議会議長賞

岡本真奈(竹野小6年)

戸田こころ(豊岡北中2年)

■豊岡市教育委員会賞

佐野健人(西保育園)

橘蒼士(五荘小3年)

上垣若菜(豊岡小5年)

山畠祐希(近大附属中3年)

日本・モンゴル民族博物館第79回企画展

「モンゴル遊牧民と馬」

遊牧民としてモンゴル人が草原に暮らすために不可欠の存在が、馬である。

遊牧民にとっての馬とは何か？

写真パネル、映像、馬具などを展示し、その役割や文化を紹介する。

日時 1月19日(日)～5月19日(火)
午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
※毎週水曜日休館

▼場所 日本・モンゴル民族博物館
▼料金 一般500円、大学・高校生300円、小・中学生200円(ココロンカード提示で無料・障害者手帳所持者は半額)
《問合せ》日本・モンゴル民族博物館 ☎56-1000

企画展ギャラリートーク

▼日時 3月8日(日)午前11時30分～

▼内容 「モンゴル遊牧民と馬-友として、ライバルとして-」

NPO法人北方アジア文化交流センター

しゃがあ理事長 西村幹也さん

